

## 比例代表5597票を得る

### 衆議院選挙「政権交代」の激動の中 日本共産党 9 議席まもる



比例代表で当選した佐々木憲昭さんと選挙区中野さん（白子駅前）

8月30日の衆議院総選挙で、自民・公明が大敗、民主党が308議席に躍進し、日本の政治は新しい局面に突入しました。

この選挙で日本共産党は、改選9議席を2桁にと奮闘しましたが、前回と同じく比例代表で9人の当選となりました。鈴鹿市では前回より少し前進の5597票を得ました。また、選挙区候補としてがんばった中野たけしさん

も、5491票を得ました。ご支持いただいた皆様に、心から感謝いたします。

昨年8月末に福田首相が政権を投げ出して以来、1年間「解散総選挙あり」の態勢のままで来た長丁場でしたが、その間に未曾有の経済恐慌、大企業による非情な「派遣切り」があり、自民・公明政権の無策と「バラマキ」に対して国民の怒りが沸騰した選挙となりました。「政権交代」は実現しましたが、その「中身」が国民の願いに答えられるか、がこれからの課題です。

鈴鹿市と全国での日本共産党の選挙ごとの得票比較

	2005年衆院選	2007年参院選	2009年衆院選
比例代表得票	5 2 7 0	5 0 2 3	5 5 9 7
選挙区得票	5 6 2 4	6 8 5 5	5 4 9 1
全国比例得票	4,919,187	4,407,932	4,943,886

# 小選挙区制は民意をゆがめる制度だ

## 比例代表の得票率で配分すれば共産党は34議席

今回の選挙結果は、民主党が480議席のうち308を占め、議席占有率は64%となりました。しかし民主党の比例代表の得票率は42%で、過半数になっていません。国民が支持する率より、議席が1.5倍にふくれる、これが大政党が有利となる小選挙区制の、根本的な欠陥です。

もし、選挙制度が比例代表だけなら、どうなるか試算してみました。すると共産党は得票率7%なので34議席になります。実際の獲得議席は9ですから、国民が支持する率の約4分の1しかありません。民主党が言うように比例代表をなくして小選挙区だけにしたらゼロになります。これでは、国民の14人に1人いる共産党支持者の意見が抹殺されることになります。選挙制度を変えるのなら、国民の意見を鏡のように正しく反映する制度にするべきです。

比例代表選挙の得票率で算出した各党の議席数比較

	比例得票率	算出議席数	実際の議席数	民意の歪み率
日本共産党	7.0%	34	9	26.5%
民主党	42.4%	203	308	152%
自由民主党	26.7%	128	119	93%
公明党	11.5%	55	21	38.2%
社会民主党	4.3%	21	7	33.3%
みんなの党	4.3%	21	5	23.8%
国民新党	1.7%	8	3	37.5%
新党日本	0.8%	4	1	25.0%
その他	1.4%	6	7	117%
合計	100%	480	480	—

# 「細菌性髄膜炎ワクチンの定期接種を求める意見書」全会一致で議決

新日本婦人の会が6月議会に提出した「細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期接種化の早期実現を求める請願」の紹介議員に、私と大西克美議員となり、文教福祉委員会で審議を行ないました。6月議会では結論に至らず、継続審査となりましたが、8月の委員会で採択となり、31日の9月議会冒頭の本会議で請願採択、意見書の議決となりました。

## 日本は何と！驚くべき「ワクチン後進国」である

子どもがかかると死亡率5%、後遺症の残る率20%という恐ろしい病気である髄膜炎。その原因となるヒブ菌、肺炎球菌には、すでにワクチンが出来ていて、世界の多くの国で承認、接種されていますが、日本ではいまだにヒブワクチンは「任意接種」扱い、肺炎球菌ワクチンは承認されていない状態です。

私もあらためて調べてみましたが、日本はこのことに限らず、ワクチン後進国であるという事実にびっくりしました。アジアの中でもワクチンが承認されていないのは、もう北朝鮮と日本ぐらいだということです。このような事実も知らないで、日本は先進国だと思い込んでいるのは恥ずかしいことです。

## 教育も医療も雇用も社会保障も「後進国」の日本

衆議院選挙の中でも、わが日本の後進性が問題になりました。医療費の自己負担を3割も取っている国。「後期高齢者」だけの医療制度を作った国。高校や大学の授業料をべらぼうに取る国。非正規労働者を使い捨てにする国。失業手当や生活保護が必要な人の一部にしか適用されていない国。25年も保険料をかけないと年金がもらえない国。医師も看護師も足りない国。それがわが日本。年に3万人も自殺する国。いまだに死刑を支持する国民が多い国。一日中テレビが有害番組を流し、コンビニでエロ本を売っている国。子どもが未来に希望を持っていない国。食糧自給率が4割しかない国。「カローシ」が国際語になっている国。それがわが日本。

しかし！世界に誇る平和憲法を持っている国。共産党が堂々と、国会から地方の隅々まで活動している国。わが日本を本当の「先進国」にしましょう。

ずいそう



## 政治家を墮落させる「麻薬」

今回の衆議院選挙で、余りにも自民党・公明党の政治がひどいので、国民の多数が「とにかく自民・公明を退場させよう」と、民主党に投票して308議席という大勝利をもたらした。共産党もがんばったが、「政権交代」の風の中で無党派層の支持を得るには至らず、現有議席をまもるに留まった。

選挙中の論戦の中で、自民も民主も、そしてマスコミも、なぜか触れようとしない問題がいくつかあったが、中でも私は次の二つが重大だと思う。

### 「財源といえば消費税」しかないとの思い込み

一つは、マニフェストで多くの約束をした施策のための財源として、消費税の引き上げと「ムダ使い」をなくすことしか言えないことである。消費税を自民党は2年後に上げる、民主党は4年後に上げる、という時期の違いだけで、上げることには変わりがない。共産党が言うように、法人税や所得税を不当に減税してやっている大企業や大金持ちに「応分の負担」をしてもらうという発想が全くない。消費税がなかった20年前にはどうして財政をやりくりしていたのか、思い出そうともしないのである。

### 税金のムダ使い「政党助成金」に依存する体質

もう一つが、これも15年前まではなかった「政党助成金」を、やめようとも減らそうとも言わないことである。毎年320億円もの税金を山分けし、「民間」団体である政党の資金の大部分を「官」の税金に依存しているのである。大勝した民主党は、莫大な税金をふところに入れることになるが、その口から「ムダ使いをなくします」と言うことは、根本的な矛盾である。「国会議員を80人減らす」などと言っているが、政党助成金をやめれば400人議員を減らしたと同じだけの節約になると、なぜ気づかないのか。

芸能人の覚醒剤汚染が大ニュースになっているが、政治家にとっての「麻薬」は、消費税と政党助成金である。いちど手を付けたらやめられない、深刻な依存症になり、まともな思考ができなくなる、爪に火を灯すような暮らしをしている庶民のことなどどうでもよくなる。政治家の墮落である。